

11月17日（水）全校集会（インターネットやSNSの使い方を考えよう！）

皆さんは「世界に誇る日本の文化」と聞いて何を思い出すでしょうか。

昨日、和楽器の演奏を聴いたばかりですから、太鼓や琴などの音楽、また、茶道や華道、着物といった和の文化でしょうか。さらに、和食、寿司、ラーメンなどの食文化もあります。人それぞれだと思いますが、例えば、東京オリンピックの開会式の選手入場の際に、日本でつくられたコンピュータゲームの音楽が流れて話題になりました。

また、ドラゴンボールやワンピースなどの漫画やアニメも世界中で人気となっており、私は、これも「世界に誇る日本の文化」だと思います。

アニメーションは私が子どものころから発展しはじめましたから、私も大好きで、最近では9月に、「竜とそばかすの姫」という映画を観ました。監督はこれまで「おおかみこどもの雨と雪」や「バケモノの子」を手がけた細田守さん。

ストーリーの詳細はいわゆる「ネタバレ」になってはいけませんので、省略しますが、この物語では「U」と呼ばれるインターネット上の仮想世界が登場します。

「U」ではアズと呼ばれる自分の分身をつくり、現実世界とは異なる体験ができます。物語の主人公である「すず」は現実世界では、ある事件がトラウマになって歌うことができませんが、「U」の中では「ベル」という自分の分身をつくって、美しい声で歌います。

さて、2021年の現代、インターネットは今後も益々発展し、この映画で描かれたような仮想世界もそう遠くない未来にできそうな気がします。しかし、実際には、まだまだクリアしなければならない問題があります。例えば5Gと呼ばれる高速大容量の情報通信技術は、携帯端末の方は対応していても、通信網は未だにエリアが全国をカバーできていません。Wifiにしても、たくさんの人がいっせいにログインしようとするれば、コンピュータの画面が固まってしまうような状態です。それから、仮想世界で買い物をしたり、お店を出したりするための法律の整備も必要でしょう。

このような現状ですが、私が一番クリアしなければならないのは、人間そのものの考えや行いの問題だと思います。例えばインターネットによる誹謗中傷によって、傷つき、命を落とした人のニュースや、芸能人のSNSが炎上したなどの言葉をよく聞きます。こういう社会の状態では、仮想世界をつくっても、きっと参加したみんなが楽しめるような空間はできないだろうと思っています。

皆さんはどう思いますか。それは決して人ごとではありません。

県教育委員会が昨年度実施した「スマートフォンの利用に関する調査」では「スマホを所有している、または家族所有のスマホ等を利用している中学生の割合は 97.7%であり、そのうち、LINEやツイッターなどのSNSを利用している人は約7割（71.8%）にのぼります。そして、これらに端を発したトラブルが多く発生しているという実態があります。この調査では香川県ではだいたい中学生の4人に一人がトラブルを経験していること

が分かりました。

携帯端末による文章のやりとりは面と向かって言えないことを伝えることができるため、便利な一面がありますが、逆に面と向かっていないため、誤解を生むことがあります。

例えば「〇〇って、おもしろくない？」とクエスチョンマークをつければ、同意を求める問いかけになりますが、「〇〇って、おもしろくない」とすれば、否定になります。そして、それが拡散してしまえば、大きな誤解となり、いじめ等に発展する可能性があります。加えて、SNS上では一度、アップしたコメントや写真は削除することができません。本人は削除したつもりでもスクリーンショットを撮られていれば、それは残ります。

携帯電話が世の中に出始めた20年ほど前、私は、将来、小中学生がそれを使う時代がこようとは夢にも思いませんでした。また、その頃は、学校で中学生は使用禁止だといっても通用していました。しかし、今の時代、インターネットにつながる携帯端末等の使用を禁止することなんて考えられません。学校への持ち込みを禁止する程度です。

だからこそ、私は皆さんがトラブルに遭わないように、SNS等のやりとりで信頼を失ったり、人間関係で悩んだりすることがないように、それらのツールを正しく使うことをお願いしたいのです。「大人の中にも悪用する人がいるのに、子どもに正しく使いなさいと言うのは無理です。」と言う人も中にはいるかもしれませんが、これからの社会を生きていく皆さんに、携帯端末を使って正しく相手とコミュニケーションする力は、ぜひ身に付けてほしいと考えています。

今の時代、情報の発信には責任が伴います。場合によっては罪に問われるのです。メールの文章や画像、動画等によって、心を傷つけ合う行為だけは絶対にしないように、発信する前には、よく考えてください。お願いします。

さて、今後もテクノロジー（技術）はどんどん発展していくでしょう。でも、人間そのものの考えや行いが、それに追いついていないなら、いつまで経っても仮想世界はアニメの中だけの世界です。これは、とてももったいない話だと思います。あと20年もすれば、私は高齢で体も自由に動かなくなっていると思いますが、仮想世界の中ならば、空間を飛び越えて、あちこちに行くことができます。きっと生活はもっと便利で豊かになると思います。

インターネットがまだまだ発展途上の現在、SNS上では、匿名でも、名乗らなくても、相手を攻撃することが可能です。この状況のなかで、私たち人間の価値が問われています。将来、仮想空間を作ってもやっていけるかどうか、今、試されているのかもしれませんが。

「竜とそばかすの姫」のラストは、仮想世界の経験から、前向きに生きる自信を持った主人公「すず」が現実世界で歌おうとするとところで終わります。

私たちが暮らす現実世界でも、インターネットやSNSの使い方を、みんなで考え、相手の人権を尊重し、そして、友だちを思い、誰一人として傷つけることのない社会になることを節に願います。

以上